対象校No. 989
注４

学校コード F133310109554
注３

設置年度　令和　６年度

計画の区分：　研究科の設置
注１

認可

注2
岡山理科大学大学院　獣医学研究科　獣医保健看護学専攻修士課程　（必要がある場合）〇〇専攻

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
（改正前大学設置基準適用）

学校法人加計学園
令和６年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名	企画部
職名・氏名	部長　野村（ノムラ）　武未（タケミ）
電話番号	０８６-２５６-８４１４
（夜間）	０８６－２５６-８４３１
ｅ－mail	kikaku@ous.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

４　対象校No.については、「【別紙】令和６年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

獣医学研究科

＜獣医保健看護学専攻　修士課程＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２４
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学校法人加計学園

（２）大　学　名

岡山理科大学大学院

（３）調査対象大学等の位置

〒７９４－８５５５（７００－０００５）
愛媛県今治市いこいの丘１番３（岡山県岡山市北区理大町１番１号）

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（カケ　コウタロウ） 加計　晃太郎 （平成１３年１月）	（フリガナ） 氏　　名 （現職就任年月）	
学　　長	（ヒラノ　ヒロユキ） 平野　博之 （令和４年４月）		
研究科長	（エトウ　マスミ） 江藤　真澄 （令和６年４月）		
専攻長	（ブンゴ　タカシ） 豊後　貴嗣 （令和６年４月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和５年度に報告済の内容　→（５）
令和６年度に報告する内容　→（６）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・　様式は、令和元年度開設の４年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和６年度までの６年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が７年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程 修士（獣医保健看護学）	農学関係	2年	5人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	10人	－	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
Ａ　入学定員	人 － （－） ［－］	人	人 － （－） ［－］	人	人 － （－） ［－］	人	人 － （－） ［－］	人	人 － （－） ［－］	人	人 5 （－） ［－］	人	－	0.40倍	－倍	
志願者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	2 （－） ［－］	－ （－） ［－］				
受験者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	2 （－） ［－］	－ （－） ［－］				
合格者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	2 （－） ［－］	－ （－） ［－］				
Ｂ　入学者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	2 （－） ［－］	－ （－） ［－］				
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	－		－		－		－		－		0.40					

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
・　「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和７年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・　「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・　「（５）－②　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「４　既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	2 [－] (－)	－ [－] (－)	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次													
４年次													
計	－ [－] (－)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		2 [－] (－)		

（注）・　報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　[　　]内には、留学生の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 ＼ 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	退学者数	うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
令和元年度	－ 人	－ 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
令和2年度	－ 人	－ 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
令和3年度	－ 人	－ 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
令和4年度	－ 人	－ 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
令和5年度	－ 人	－ 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
			令和5年度	－ 人	－ 人	
令和6年度	2 人	0 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
			令和5年度	－ 人	－ 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合　計		0 人		0 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) ＝ － / － ＝ － %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) ＝ － / － ＝ － %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) ＝ － / － ＝ － %

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) / 令和4年度の在学者数(b) ＝ － / － ＝ － %

【令和5年度】

令和5年度の退学者数(a) / 令和5年度の在学者数(b) ＝ － / － ＝ － %

【令和6年度】

令和6年度の退学者数(a) / 令和6年度の在学者数(b) ＝ 0 / 2 ＝ 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜獣医学研究科　獣医保健看護学専攻　修士課程＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ	1通	2			7	8				
	獣医関連生命科学総合講義Ⅱ	2通	2			12	3				
	高齢動物科学特論	1前		2		1					
	動物感染症特論	1前		2			1				
	飼育動物学特論	1後		2		1					
	動物福祉学特論	1後		2		1					
	動物看護学特論	1後		2			2				
	小計（7科目）	－	4	10	0	18	8	0	0	0	0
演習科目	獣医保健看護学特別演習Ⅰ	1前	2			6	3				
	獣医保健看護学特別演習Ⅱ	1後	2			7	2				
	獣医保健看護学特別演習Ⅲ	2前	2			5	4				
	獣医保健看護学特別演習Ⅳ	2後	2			8	2				
	高度動物看護学特別演習	2前		2		3	4				
	いきものQOLラボ特別演習	1・2通		2		2					1
	動物インターナショナルキャリア	1・2通		2		18	8				
	小計（7科目）	－	8	6	0	18	8	0	0	0	1
特別研究	特別研究	1～2通	12			18	8				
	小計（1科目）	－	12	0	0	18	8	0	0	0	0
合計（15科目）		－	24	16	0	18	8	0	0	0	1

卒業要件及び履修方法
必修科目の「特別研究」12単位、「獣医保健看護学特別演習Ⅰ～Ⅳ」8単位、「獣医関連生命科学総合講義Ⅰ～Ⅱ」4単位を合わせた24単位と、専門科目の選択科目（「高齢動物科学特論」「動物感染症特論」「飼育動物学特論」「動物福祉学特論」「動物看護学特論」から2単位以上を含む）及び演習科目の選択科目から8単位を合わせた計32単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上で、修士論文審査および最終試験に合格すること。

【令和６年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ	1通	2			7	8				
	獣医関連生命科学総合講義Ⅱ	2通	2			11	3				
	高齢動物科学特論	1前		2		1					
	動物感染症特論	1前		2			1				
	飼育動物学特論	1後		2		1					
	動物福祉学特論	1後		2		1					
	動物看護学特論	1後		2			2				
	小計（7科目）	－	4	10	0	17	8	0	0	0	0
演習科目	獣医保健看護学特別演習Ⅰ	1前	2			6	3				
	獣医保健看護学特別演習Ⅱ	1後	2			7	2				
	獣医保健看護学特別演習Ⅲ	2前	2			5	4				
	獣医保健看護学特別演習Ⅳ	2後	2			7	2				
	高度動物看護学特別演習	2前		2		3	4				
	いきものQOLラボ特別演習（未開講）	1・2通		2		2					1
	動物インターナショナルキャリア（未開講）	1・2通		2		17	8				
	小計（7科目）	－	8	6	0	17	8	0	0	0	1
特別研究	特別研究	1～2通	12			17	8				
	小計（1科目）	－	12	0	0	17	8	0	0	0	0
合計（15科目）		－	24	16	0	17	8	0	0	0	1

卒業要件及び履修方法
必修科目の「特別研究」12単位、「獣医保健看護学特別演習Ⅰ～Ⅳ」8単位、「獣医関連生命科学総合講義Ⅰ～Ⅱ」4単位を合わせた24単位と、専門科目の選択科目（「高齢動物科学特論」「動物感染症特論」「飼育動物学特論」「動物福祉学特論」「動物看護学特論」から2単位以上を含む）及び演習科目の選択科目から8単位を合わせた計32単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上で、修士論文審査および最終試験に合格すること。

（注）・　報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・　専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
・　指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和６年度】（新）→【令和５年度】（新）→【令和４年度】→【令和３年度】→【令和６年度】（旧）→【令和５年

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和６年度】

・「獣医関連生命科学総合講義Ⅱ」を担当する専任の教授1名が令和6年3月に一身上の都合による退職のため未就任。後任については令和6年6月のAC教員審査受審予定である。これにより専任教員数等の配置を「教授12、准教授3」から「教授11、准教授3」に変更。

・「獣医保健看護学特別演習Ⅳ」を担当する専任の教授1名が令和6年3月に一身上の都合による退職のため未就任。後任については令和6年6月のAC教員審査受審予定である。これにより専任教員数等の配置を「教授8、准教授2」から「教授7、准教授2」に変更。

・「動物インターナショナルキャリア」を担当する専任の教授1名が令和6年3月に一身上の都合による退職のため未就任。後任については令和6年6月のAC教員審査受審予定である。これにより専任教員数等の配置を「教授18、准教授8」から「教授17、准教授8」に変更。

・「特別研究」を担当する専任の教授1名が令和6年3月に一身上の都合による退職のため未就任。後任については令和6年6月のAC教員審査受審予定である。これにより専任教員数等の配置を「教授18、准教授8」から「教授17、准教授8」に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の<u>未開講や廃止については記入しない</u>でください。
・　不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。
・　指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ１つの枠内に記入してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
7 科目	8 科目	0 科目	15 科目	7 科目 [0]	8 科目 [0]	0 科目 [0]	15 科目 [0]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
・　該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
・　該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{15} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
（1）校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	184,730㎡	0㎡	0㎡	184,730㎡	借用期間及び面積 1年　60㎡ 3年　224㎡ 30年　14,731㎡ 60年　15,974㎡ 研修所の取得および売却による増加（6）
	運動場用地	123,813㎡	0㎡	0㎡	123,813㎡	
	小計	308,543㎡	0㎡	0㎡	308,543㎡	
	その他	649,229㎡ ~~648,934㎡~~	0㎡	0㎡	649,229㎡ ~~648,934㎡~~	
	合計	957,772㎡ ~~957,477㎡~~	0㎡	0㎡	957,772㎡ ~~957,477㎡~~	

（2）校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	備考
	127,226㎡ （127,226㎡）	0㎡ （0㎡）	0㎡ （0㎡）	127,226㎡ （127,226㎡）	大学全体

（3）教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	82室	153室 ~~152室~~	423室	12室 （補助職員4人）	10室 （補助職員0人）	大学全体 用途変更による増加（6）

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	獣医学研究科獣医保健看護学専攻	23　室	

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	獣医学研究科	19,842〔2,924〕 （19,842〔2,924〕）	55〔15〕 （55〔15〕）	12〔12〕 （12〔12〕）	802 （802）	35,553 （35,553）	210 （210）	
	計	19,842〔2,924〕 （19,842〔2,924〕）	55〔15〕 （55〔15〕）	12〔12〕 （12〔12〕）	802 （802）	35,553 （35,553）	210 （210）	

（6）図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	5,982㎡	976席	542,633冊	大学全体

（7）体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
	6,312㎡	トレーニングルーム2室	フィットネスルーム1面	大学全体
		野球場1面	テニスコート8面	
		アーチェリー場1カ所	弓道場1カ所	
		幅跳・三段跳場1面		

（8）経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	備考
経費の見積り	教員１人当り研究費等	600千円	600千円	図書購入費	0千円	0千円	0千円	研究費・共同研究費等・図書購入費・設備購入費は研究科単位での算出不能なため、学部との合計。
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	1,072千円	0千円	0千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	720千円	620千円	―千円	―千円	―千円	―千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、手数料

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（６）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　既設大学等の状況

大学の名称	岡山理科大学	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	7	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
理学部	4	415	－	1705	学士（理学）	0.69	－	－	昭和39	岡山県岡山市北区理大町1番1号	
応用数学科	4	110	－	440	学士（理学）	0.78	－	－	昭和39	同上	
基礎理学科	4	90	－	360	学士（理学）	**0.67**	－	－	昭和50	同上	
物理学科	4	45	－	180	学士（理学）	**0.65**	－	－	昭和41	同上	
応用物理学科											
臨床工学専攻	4	－	－	－	学士（理学）	－	－	－	平成14	同上	令和４年度入学生より学生募集停止
化学科	4	75	－	300	学士（理学）	**0.52**	－	－	昭和39	同上	
生物化学科	4	－	－	－	学士（理学）	－	－	－	昭和63	同上	令和４年度入学生より学生募集停止
動物学科	4	45	－	180	学士（理学）	0.86	－	－	平成20	同上	
臨床生命科学科	4	50	－	245	学士（理学）	0.71	－	－	平成16	同上	令和４年度から入学定員変更（95→50）
工学部	4	395	３年次 ５	1670	学士（工学）	0.84	－	－	昭和61	同上	
機械ｼｽﾃﾑ工学科	4	90	－	360	学士（工学）	0.77	－	－	昭和61	同上	
電気電子ｼｽﾃﾑ学科	4	70	－	280	学士（工学）	0.76	－	－	昭和61	同上	
情報工学科	4	75	－	320	学士（工学）	1.10	－	－	平成４	同上	令和４年度から入学定員変更（95→75）
応用化学科	4	60		265	学士（工学）	**0.55**	－	－	昭和61	同上	令和４年度から入学定員変更（85→60）
知能機械工学科	4	－	－	－	学士（工学）	－	－	－	平成17	同上	令和４年度入学生より学生募集停止
建築学科	4	75	３年次 ５	310	学士（工学）	1.01	－	－	平成23	同上	
生命医療工学科	4	25	－	135	学士（工学）	0.71	－	－	平成19	同上	令和４年度から入学定員変更（60→25）
情報理工学部	4	210	－	630	学士（情報理工学）	0.93	－	－	令和４	同上	
情報理工学科	4	210	－	630	学士（情報理工学）	0.93	－	－	令和４	同上	
総合情報学部	4	－	－	－	学士（総合情報学）	－	－	－	平成９	同上	
情報科学科	4	－	－	－	学士（総合情報学）	－	－	－	平成９	同上	令和４年度入学生より学生募集停止
社会情報学科	4	－	－	－	学士（総合情報学）	－	－	－	平成９	同上	平成29年度入学生より学生募集停止
生命科学部	4	165	－	495	学士（生命科学）	0.70	－	－	令和４	同上	
生物科学科	4	165	－	495	学士（生命科学）	**0.70**	－	－	令和４	同上	
生物地球学部	4	140	－	560	学士（理学）	1.00	－	－	平成24	同上	
生物地球学科	4	140	－	560	学士（理学）	1.00	－	－	平成24	同上	
教育学部	4	130	－	520	学士（教育学）	0.55	－	－	平成28	同上	
初等教育学科	4	70	－	280	学士（教育学）	**0.53**	－	－	平成28	同上	
中等教育学科	4	60	－	240	学士（教育学）	**0.57**	－	－	平成28	同上	

大学の名称	岡山理科大学	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	7	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
経営学部	4	160	－	610	学士 （経営学）	1.04	－	－	平成29	同上	令和４年度から入学定員変更（130→160）
経営学科	4	160	－	610	学士 （経営学）	1.04	－	－	平成29	同上	
獣医学部（6年制）	6	140	－	840	学士 （獣医学）	1.06	－	－	平成30	愛媛県今治市いこいの丘1番3	
獣医学部（4年制）	4	60	－	240	学士 （獣医保健看護学）	1.08	－	－	平成30	同上	
獣医学科	6	140	－	840	学士 （獣医学）	1.06	－	－	平成30	同上	
獣医保健看護学科	4	60	－	240	学士 （獣医保健看護学）	1.08	－	－	平成30	同上	
大学全体	4	1815	３年次 10	7270	－	－	－	－	－	－	

（注）・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「収容定員充足率」には、報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和７年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

５　教員組織の状況

＜獣医学研究科　獣医保健看護学専攻　修士課程＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	浅沼 武敏 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅳ※ 高度動物看護学特別演習※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	伊豆 弥生 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅳ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	江藤 真澄 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅰ※ いきものQOLラボ特別演習※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	岡村 泰彦 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅱ※ 高度動物看護学特別演習※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	神田 鉄平 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅲ※ 高度動物看護学特別演習※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	神林 康弘 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	獣医保健看護学特別演習Ⅱ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究

【令和６年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	浅沼 武敏 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅳ※ 高度動物看護学特別演習※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	江藤 真澄 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅰ※ いきものQOLラボ特別演習※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	岡村 泰彦 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅱ※ 高度動物看護学特別演習※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	神田 鉄平 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅲ※ 高度動物看護学特別演習※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	神林 康弘 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	獣医保健看護学特別演習Ⅱ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	木村 展之 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 高齢動物科学特論 獣医保健看護学特別演習Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅲ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅳ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	鍬田 龍星 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅰ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	斉藤（齊藤）真也 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅳ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	作道 章一 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅲ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	杉山 晶彦 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅳ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	畑 明寿 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅱ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	木村 展之 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 高齢動物科学特論 獣医保健看護学特別演習Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅲ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅳ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	鍬田 龍星 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅰ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	斉藤（齊藤）真也 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅳ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	作道 章一 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅲ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	杉山 晶彦 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅳ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	畑 明寿 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅱ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	古本 佳代 ＜令和6年4月＞ 博士(健康科学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 動物福祉学特論 獣医保健看護学特別演習Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅳ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	豊後 貴嗣 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 飼育動物学特論 獣医保健看護学特別演習Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅲ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅳ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	邊見 弘明 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅱ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	松井 利康 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅰ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	水野 理介 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)	獣医保健看護学特別演習Ⅲ※ いきものQOLラボ特別演習※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	横山 博 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)	獣医保健看護学特別演習Ⅳ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	古本 佳代 ＜令和6年4月＞ 博士(健康科学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 動物福祉学特論 獣医保健看護学特別演習Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅳ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	豊後 貴嗣 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 飼育動物学特論 獣医保健看護学特別演習Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅲ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅳ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	邊見 弘明 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅱ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	松井 利康 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅰ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	水野 理介 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)	獣医保健看護学特別演習Ⅲ※ いきものQOLラボ特別演習※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	教授	横山 博 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)	獣医保健看護学特別演習Ⅳ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	齋藤（春末）文代 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅳ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	准教授	佐伯 香織 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医保健看護学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 動物看護学特論 獣医保健看護学特別演習Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅲ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅳ※ 高度動物看護学特別演習※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	准教授	髙橋 秀和 ＜令和6年4＞ 博士(理学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅱ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	准教授	田川 道人 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 動物看護学特論 獣医保健看護学特別演習Ⅰ※ 高度動物看護学特別演習※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	准教授	久枝 啓一 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 動物感染症特論 獣医保健看護学特別演習Ⅲ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	齋藤（春末）文代 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅳ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	准教授	佐伯 香織 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医保健看護学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 動物看護学特論 獣医保健看護学特別演習Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅱ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅲ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅳ※ 高度動物看護学特別演習※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	准教授	髙橋 秀和 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅱ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	准教授	田川 道人 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 動物看護学特論 獣医保健看護学特別演習Ⅰ※ 高度動物看護学特別演習※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	准教授	久枝 啓一 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医関連生命科学総合講義Ⅱ※ 動物感染症特論 獣医保健看護学特別演習Ⅲ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	前田 憲孝 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅲ※ 高度動物看護学特別演習※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	准教授	松田 彬 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅰ※ 高度動物看護学特別演習※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	准教授	米加田 徹 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅲ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
兼担	教授	赤木 徹也 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	いきものQOLラボ特別演習※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	前田 憲孝 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅲ※ 高度動物看護学特別演習※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	准教授	松田 彬 ＜令和6年4月＞ 博士(獣医学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅰ※ 高度動物看護学特別演習※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
専	准教授	米加田 徹 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)	獣医関連生命科学総合講義Ⅰ※ 獣医保健看護学特別演習Ⅲ※ 動物インターナショナルキャリア 特別研究
兼担	教授	赤木 徹也 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	いきものQOLラボ特別演習※

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　年齢は、**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。
・　指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目
の授業科目名を記入するとともに、下段に

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和６年度】

・「獣医関連生命科学総合講義Ⅱ」「獣医保健看護学特別演習Ⅳ」「動物インターナショナルキャリア」「特別研究」を担当する伊豆弥生教授が令和6年3月に一身上の都合による退職のため未就任。後任については令和6年6月のAC教員審査に井上貴史氏が受審予定である。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）ー①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4 名	3 名	2 名

（注）・　大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）ー②　専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A’）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B’）
18 (18)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	26 (26)	0 (0)	17	8	0	0	25	0
研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
26 (26)	18 (18)	0 (0)	0 (0)			25	17	0	0		

現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C’）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D’）
17 [△1]	8 [0]	0 [0]	0 [0]	25 [△1]	0 [0]	18 [0]	8 [0]	0 [0]	0 [0]	26 [0]	0 [0]
研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
25 [△1]	17 [△1]	0 [0]	0 [0]			26 [0]	18 [0]	0 [0]	0 [0]		

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）ー③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）ー④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{25}{26} = 96.15\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{25} = 0\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C’）}}{\text{設置時の計画（A’）}} = \frac{0}{0} = -\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）ー①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	伊豆　弥生	R6.3	必修	獣医関連生命科学総合講義Ⅱ	③	R6.3　一身上の都合による退職のため未就任（6）
				必修	獣医保健看護学特別演習 Ⅳ	③	
				選択	動物インターナショナルキャリア	③	
				必修	特別研究	③	

合計（Ｄ）				後任補充状況の集計（Ｅ）							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
1　人	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	3 科目
	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	1 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	4	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	4 科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）ー②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					

合計（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｇ）							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0 科目

（注）・　一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー③　上記（３）ー①　・　（３）ー②　の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
1　人	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	3 科目
	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	1 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	4	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	4 科目

（３）ー④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)ー③合計(D)+(F)}{(2)ー②設置時の計画(A)} = \frac{1}{26} = 3.84\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）ー⑤　令和５年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

（注）・（３）ー①、（３）ー②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
・　令和６年度開設の学科等の場合、（D）＋（F）と同数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計			後任補充状況の集計		
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0　人	必修	0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目
	選択	0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目
	自由	0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目
	計	0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）　専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退した専任教員の後任については、令和6年6月のAC教員審査に井上貴史氏が受審予定である。
AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けてからの後任手続きを予定している。
後任の教員には本研究科の趣旨や教育課程の特色等に関するFD、オムニバス科目や、共同で担当する科目については、科目責任者が当該科目の目標、到達度、評価の基準、各回の内容、留意点等のガイダンスを十分に行うことで、認可時の計画通りの授業を遂行する方針である。
また、学生には教員の変更について学期始めのオリエンテーションや学生専用のインターネットによる情報窓口であるポータルサイトで周知を図っている。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和５年）	理学部化学科の収容定員未充足の是正に努めること。	【認可】 遵守事項	収容定員充足率は令和4（2022）年度0.68、令和5（2023）年度0.62、令和6（2024）年度0.52となっている。 高校への聞き取り調査では「化学」選択者の減少という意見が多く、そのため、高校低学年より、化学への興味関心を引き出すために、「高校生のための化学実験教室」を本学で開催している。 また、企業・公的機関での研究職を目指し、大学院へ早期進学を目指す「大学院早期進学コース」も高校生へ訴求力があるため、フライヤーを作成し周知を図っているが、収容定員未充足の状況が続いている。	履行中	今年度も引き続き、「高校生のための化学実験教室」の開催を予定しており、化学への興味関心を引き出すことで受験に繋げていく。 また、タイムリーなDM発送や県内の高校訪問も昨年度以上に強化し、周知を図っていく。 同時に学科の学びの動画をHPにて紹介することで、研究力のある大学として社会にアピールしていく。
	理学部臨床生命科学科の収容定員未充足の是正に努めること。	【認可】 遵守事項	収容定員充足率は令和4（2022）年度0.62、令和5（2023）年度0.64、令和6（2024）年度0.71となっている。 令和4（2022）年度より学部・学科を改組し、臨床検査技師の国家資格取得に特化した内容に変更を行い、入学定員を95名から50名に45名減じている。 学科単独の高校訪問だけではなく、生命系の他学科教員と高校訪問を実施することで、高校教員を通じて受験生に学科内容の周知を図り、収容定員充足は改善傾向にある。	履行中	令和7（2025）年度より学部・学科の改組を予定しており、理学部臨床生命科学科と工学部生命医療工学科を1学科に統合し、生命科学部医療技術学科を設置する予定である（設置認可申請中）。 臨床検査技師、臨床工学技士と2種類の医療系国家資格が取得できる学科として、中四国の受験生を中心にDMを発送し、周知を図っていく。 県内の高校教員を本学に招き、学科概要説明や施設見学を実施し、本学の魅力を伝えていく。
	教育学部中等教育学科の収容定員未充足の是正に努めること。	【認可】 遵守事項	収容定員充足率は令和4（2022）年度0.70、令和5（2023）年度0.62、令和6（2024）年度0.57となっている。 積極的な高校訪問や出張講義により、学科の特色を受験生に周知している。 さらに、WEB広告等により学科のアピールを行っているが、収容定員未充足の状況が続いている。	履行中	令和7（2025）年から入学定員を見直し、60名から50名に10名減じる。 県内及び近隣県の高校訪問を強化し、教員採用試験の合格者の多さやOB教員が多いなどの本学ならではの強みをアピールしていく。 また、教員不足が言われている中、近隣の自治体や高校にもアプローチし、高大及び官と連携して教員養成プログラムを実施できるような働きかけを行っていく。

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和５年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和５年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

【令和５年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和５年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。

【令和６年度から新たに調査対象となった学科等又は令和５年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜獣医学研究科　獣医保健看護学専攻　修士課程＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

本学では教員の教育能力を高める組織的・実践的取り組みとして平成12年度にＦＤ委員会を設け、授業の改善を目的に教育システムの点検、授業内容（範囲及び水準）・方法の妥当性の検証等に全学的に取り組んできた。平成22年度には教育開発支援機構（平成28年度より教育支援機構、平成30年度より教育推進機構）を設置して、ＦＤ推進室を中心に従来の取り組みの拡充を図り、学生による授業評価アンケート、教員間の授業参観、これらの有効性・妥当性の検証と啓発・周知を図るための講演会等の研修、各種報告書の作成と公開を行ってきた。

平成28年度に全学的な教育研究組織の改編に伴い、ＦＤ推進室は教育支援機構（平成30年度より教育推進機構）教育開発センターとして発展的に改組した。さらに、平成30年度より各学科・センターの教育内容、教育方法の改善に係る企画立案及び成果検証において中核的な役割を果たす教員を教育ディベロッパーとして任命する制度を設けた。また、令和2年度より教育課題の重要事項を審議する場として、学部代表を含む教育推進機構会議を設け、全学とセンターの教育改革が有効に機能する体制を整えた。

現在の委員会の設置状況は、教育推進機構教育開発センターが企画を立案したＦＤの実施計画等は教育推進機構会議での検討を経て教学委員会を通じて学部（研究科）教員に情報提供を行っている。重要事項については教育推進機構会議において審議を行っている。学部単位においても教授会の前後に懇話会を設けＦＤ活動等に取り組んでいる。

また、教育研究活動の適切かつ効果的な運営を図るため、教職員を対象として必要は知識や技能を修得させ、能力及び資質を向上させるための研修としてＳＤを計画的に行っている。ＳＤについてはＳＤ推進委員会を設け、ＳＤの実施方針、実施計画等を審議している。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

教育推進機構会議は、毎月１回開催し、構成員は(1)教育推進機構長、(2)教育推進機構副機構長　(3)学部代表（兼研究科代表）各１名、(4)教育開発センター長、(5)基盤教育センター長、(6)教職支援センター長、(7)学芸員教育センター長、(8)ＩＲセンター長、(9)教学支援部長、(10)教学・学生支援部長（今治キャンパス）(11)　その他教育推進機構長が必要と認めた者　を委員として毎月１回開催する。

教学委員会は毎月1回開催し、(1)副学長、(2)学部長、(3)学科長・コース長、(4)副機構長、(5)教育開発センター長、(6)ＩＲセンター長等が参加している。

ＳＤ推進委員会は、(1)学長、(2)副学長、(3)事務局長、(4)事務局次長、(5)庶務部長、(6)研修室長(法人本部)を委員として、ＳＤを計画的、組織的に実施し、点検・評価するため年に数回開催する。

ｃ　委員会の審議事項等

ＦＤ活動については、教育推進機構内の教育開発センターが研修会の企画等を行い、重要事項は教育推進機構の審議を経て業務を行っている。学部、学科等との情報共有は、教学委員会を通じてＦＤに関する情報を周知している。

ＳＤ活動については、ＳＤ推進委員会を設け実施計画の作成を行い、事務職員の部課長会議等でＳＤの実施計画や結果等の情報を周知している。

② 実施状況

ａ 実施内容

(1) カリキュラムアセスメント（自学科の評価に対する他学科評価によるカリキュラム改善）
(2) 卒業生・修了生アンケート、卒業生・修了生インタビュー
(3) 全学ＦＤ講演会、教育ディベロッパー研修会、フォローアップFD及び学部懇話会並びに職員研修（ＳＤ）の実施。
(4) 学生による授業アンケート

ｂ 実施方法

(1) 大学・大学院毎にアセスメントポリシーを設けている。カリキュラムアセスメントは、学部・学科・専攻の卒業・修了生がDPを修得したか、カリキュラム改善を目的として、自己（自学科・専攻）評価、他者（他学科・専攻）評価を行う。
(2) 卒業生・修了生アンケートは教育改善や学生支援の充実を目的として全学の卒業生・修了生対象に実施する。卒業生・修了生インタビューは直接、学生にインタビューを行い、教育改善にいかす。
(3) ＦＤ講演会、ＳＤ講演会は講師による講演と質疑応答を行い各自が授業改善・業務改善の取り組みに生かす。講演会にはワークショップをセットにする場合もある。全学の他に学部・機構単位で懇話会にFD的な内容を設ける場合もある。
(4) 授業改善のための学生アンケートに関しては③に後述する。

ｃ 開催状況（教員の参加状況含む）

令和５年度の実施状況は下記の通りである。 令和６年度もＦＤ・ＳＤ講演会を実施する計画である。

FD関係

No	実施日	研修名	参加人数
1	2023/4/5 （水）	ICT研修会	28
2	2023/5/10 （水）	第1回教育ディベロッパー研修会	37
3	2023/5/31 （水）	教職学協働FD研修会	35
4	2023/5/31 （水）	安全保障輸出管理に関するFD講演会	93
5	2023/6/7 （水）	全学FD研修会（CAC）	23
6	2023/6/14 （水）	フォローアップFD研修会	34
7	2023/6/15 （木）	全学FD研修会（GoogleWorkspace活用法）	387
8	2023/6/23 （金）	獣医学部FD研修会	22
9	2023/6/28 （水）	全学FD研修会（2023年度入学前教育結果報告）	99
10	2023/6/28 （水）	第2回教育ディベロッパー研修会	32
11	2023/7/19 （水）	全学FD研修会（情報セキュリティ基礎講習）	454
12	2023/7/26-27（水･木）	IB教員養成プログラムFD	9
13	2023/9/11 （月）	全学FD研修会（ゲートキーパー養成研修）	214
14	2023/9/14 （木）	学生支援FD研修会	90
15	2023/9/16 （土）	英語教員FD会	20
16	2023/9/21 （木）	FD研修会（Googleチャット活用入門）	308
17	2023/9/27 （水）	第3回教育ディベロッパー研修会	28
18	2023/9/27 （水）	FD講演会（URA島田氏講演会）	48
19	2023/10/25（水）	全学FD研修会（全学的な情報環境整備の方ほか）	101
20	2023/11/30（木）	第4回教育ディベロッパー研修会	35
21	2023/12/6 （水）	令和5年度入試FD研修	261
22	2023/12/7 （木）	全学FD研修会（2024年度シラバス作成についてほか）	138
23	2024/2/20 （火）	全学FD研修会（学習支援）	189
24	2024/3/13 （水）	全学FD研修会（FD活動報告会ほか）	103
25	2024/3/15 （金）	全学FD研修会（CAC）	27

SD関係

No	実施日	研修名	参加人数
1	2023/5/31 （水）	教職学協働SD研修会	35
2	2023/5/31 （水）	安全保障輸出管理に関するSD講演会	93
3	2023/6/15 （木）	全学SD研修会（GoogleWorkspace活用法）	387
4	2023/7/19 （水）	全学SD研修会（情報セキュリティ基礎講習）	454
5	2023/9/11 （月）	全学SD研修会（ゲートキーパー養成研修）	214
6	2023/9/14 （木）	学生支援SD研修会	90
7	2023/9/21 （木）	SD研修会（Googleチャット活用入門）	308
8	2023/11/15 （水）	全学SD研修会（情報セキュリティ基礎講習）	443
9	2023/12/6 （水）	令和5年度入試SD研修	261

・令和6年度より、獣医学研究科においても全学で開催される教育内容等の改善のための組織的な研修への参加等や研究科独自のＦＤと教育改善ＷＧの設置等、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図る。

ｄ 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学はアセスメントポリシーを定め、授業レベルでは卒業予定者へのアンケート、卒業・修了予定者にカリキュラムコンサルティング（学生インタビュー）等の結果を通じて、学科がカリキュラムの自己評価を行い、それに対する他学科による他者評価を受ける。教育開発センターがカリキュラム・アセスメントの結果を学科・専攻へフィードバックし、授業改善等への取組を進めている。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

すべての授業科目に対してＬＭＳによるアンケート調査を実施している。質問項目は、学生自身の学習の取り組み、授業内容の水準、方法、形態、施設・設備などに加え、自由記述欄も設けている。

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの集計結果は、担当教員はWeb上で確認することができ、学生による自由記述欄へのコメントに対する所見をWebシラバス上に登録する。所見は全ての学生・院生・教員が閲覧できるようにWebシラバス上に公開している。学生の意見に教員が応えることによって継続的な授業改善が行われるようにしている。
なお、個別の授業科目に基づく、全学の授業評価結果（授業アンケート経年比較）は「授業アンケート調査結果報告」としてホームページ（情報公開）に掲載している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

①　体制

ａ　委員会の設置状況

（5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。）

該当なし

ｂ　委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

ｃ　委員会の審議事項等

該当なし

ｄ　その他

該当なし

②　審議状況

ａ　審議した内容

該当なし

ｂ　教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

ｃ　教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

（４） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

　獣医保健看護学修士課程は、設置趣旨に沿った教育・研究環境の整備を進めることができたが、入学者数の定員充足が課題として残る。今後は、教育の質を維持しながら、広報活動を強化し、より多くの学生に魅力を伝える取り組みを進める。

1. 教育・研究環境の整備
現状：獣医保健看護学修士課程は、基礎・社会・臨床研究の各分野において、多角的視点から動物と人間社会の関係を理解するためのカリキュラムを整備した。特に、特別演習において実践的な経験を積む機会を提供した。これにより、学生の研究能力や実践力が向上し、設置趣旨に合致した教育が実施されている。
改善点：今年度組織した教育改善ワーキンググループにおいて随時カリキュラムの見直しと充実を図り、学生のニーズに応える教育環境の整備を進める。

2. 入試広報活動の成果と課題
現状：今年度の入学者数は、修士課程において定員5名に対し2名であった。設置認可が届き次第に大学院説明会やパンフレット、ホームページを通じた周知活動を行ったものの、卒業年次の学生の進路がすでに決まっており、定員充足には至らなかった。
改善点：次年度以降、研究科・専攻のコンセプトや教育・研究の魅力を学部生へ広めるための広報活動を強化する。特に、研究科の特徴や学生のキャリアパスに関する情報提供を充実させ、定員充足を目指す。また、高校生に対するオープンキャンパスにおいても研究科について紹介することで、大学院進学志向を持つ受験生の確保に努める。

3. 教員体制の充実
現状：教員の転出に対して迅速に対応し、後任の教員手続きが進行中である。
改善点：今後は、FDプログラムとして相互授業参観を実施することと教員間の情報共有を継続することを進め、教員間協力体制の強化を図り、学生に対する充実した教育指導を提供する。

4. カリキュラムとディプロマポリシーの周知
現状：カリキュラムやディプロマポリシー、修士学位取得までのスケジュールについて、新入生オリエンテーションを通じて学生に十分に周知した。これにより、学生は学びの目標を明確に持ち、計画的に研究を進めており、その進捗は特別演習にて検証する。
改善点：今後も継続的に学生への情報提供を行い、カリキュラムの充実を図る。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期
・令和６年７月１日　公表
ｂ　公表方法
・大学ホームページ上に公開予定（令和６年７月１日を予定）

③　認証評価を受ける計画
令和２年度に評価機関（大学基準協会）の認証評価を受け、大学基準に適合していると認定されている。
【認定期間：2021（令和３）年４月１日から2028（令和10）年３月31日】

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
　なお、「②　自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書（令和６年度）

ａ　公表予定の有無　〔　有　・　無　〕

≪ａで「有」の場合≫

ｂ　公表（予定）時期　〔　調査結果公表後１ヶ月以内　・　公表後２～３ヶ月以内　・　公表後３ヶ月以降　〕

ｃ　公表方法　〔　ウェブサイトへの掲載　・　その他（　　）　〕

≪ａで公表「無」の場合≫

ｄ　公表しない理由　〔　　〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。